

令和7年
1月1日号
広報
No.756

あきる野

今号の主な記事など

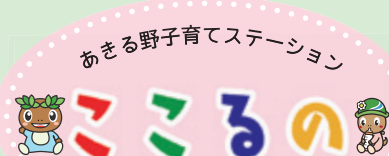
- あきる野市市制施行30周年に向けて…2・3面
- 武蔵引田駅北口土地区画整理事業地内の保留地を販売します…4面



子育てひろば こころの
[☎550-3314、月曜～土曜日 午前10時～午後4時
(第2水曜日、祝日、年末年始を除く)]

市のイメージキャラクター「森っこサンちゃん」が、「子育てひろば こころの」におじゃましました。遊びに来ていたお友達と一緒に、はいポーズ!

撮影当日の様子を
YouTubeで配信中



「あきる野子育てステーション こころの」(あきる野ルピア2階)では、妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援をワンストップで行えるよう、子どもに関わる機関と連携し、子育て世代のニーズに相談対応しています。「こころの」は、「こころ」といつでも「ここ」に来てほしいという想いに子育てを支援する「あきる野」を合わせたものです。子どもたちが自由に遊ぶことのできるスペース「子育てひろば こころの」もあります。お気軽にご利用ください。

○問合せ こども家庭センター子育て支援事業係(☎550-3361)



木製の多目的遊具

市ホームページ
あきる野子育て
ステーション
こころの



謹んで
新年のご挨拶と
申し上げます



市民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。昨年は、元日に能登半島地震が発生し、自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。被災された方々が1日も早く平穏な生活に戻れることを願うばかりであります。

経済に目を向けますと、世界各地における紛争や為替などの影響による物価高騰など、厳しい面もありましたが、景気は緩やかに回復し、長年続いたデフレから脱却するための節目の年でもありました。新しい年は停滞から成長へと変革していくことを期待しております。

このような中、市では、自主財源の確保や地域産業の活性化などを図るため、各種取組を実施しております。特に、ふるさと納税では、返礼品を充実させるとともに、寄附方法の拡充に努めており、寄附金額は、すでに前年度の3倍以上となっております。

また、生産年齢人口の増加を図るため、一昨年から、移住・定住の専門窓口を設置し、移住後の生活をイメージできるようオーダーメイド型の市内案内をはじめ先駆的な取組も行い、移住者の増加に結びついております。

このほか、地域の活性化のため、武蔵五日市駅前に拠点施設「フレア五日市」の建設を進めており、今年7月にオープンする予定であります。

この施設は、市民の憩いの場であるとともに、多様なイベントやセミナーの開催をはじめ様々な人が集い、学び、楽しむ場として活用し、交流人口・関係人口の増加を促進し、秋川流域への玄関口である武蔵五日市駅前を更に賑やかにしてまいります。

そして、本年は、市制施行30周年を迎える年であります。この節目の年を皆様と一緒に祝いするとともに、本市の自然や歴史・文化、人々のつながりを再認識し、未来へと引き継ぐため、様々な記念事業を実施してまいります。

引き続き、「すべての市民が、生き活きと暮らしているまちづくり」の実現に尽力してまいりますので、変わらぬお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が、市民の皆様にとって希望に満ちた1年となりますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

あきる野市長 中嶋 博幸